

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）

総合研究報告書（分担）

高精度放射線治療システムの国際比較に関する研究

研究分担者 宇野 隆 千葉大学大学院医学研究院 教授

研究要旨

高精度放射線治療に特化した全国レベルの診療実態調査を効率的に行うため、疾患横断的な共通の調査項目、対象疾患ごとの調査項目について策定した。研究班長による高精度放射線治療実施施設に対するWebアンケートが施行された後、訪問調査施設を選定し調査を開始した。一部集積データの解析が行われた。

A．研究目的

従来の診療実態調査研究では、放射線治療分野の全国レベルの構造調査を幅広く行い、同時にアウトカムデータの取得を行ってきた。本研究では近年著しく進歩しつつある高精度放射線治療に特化して全国レベルの診療実態調査をより効率的に行う。

B．研究方法

全国の高精度放射線治療実施施設に対する Web アンケート結果を解析し、その結果を解析した。高精度放射線治療に即した実用的かつ発展性のある調査を遂行するため、疾患横断的な共通の調査項目、対象疾患ごとの調査項目について策定した。これらをもとに訪問調査とデータ集積を開始した。

（倫理面への配慮）

想定される個人情報保護への対応として、本研究班における個人情報保護規約の策定とその遵守の重要性を確認。

C．研究結果

訪問調査施設を選定し、放射線治療専門医と医学物理士による高精度放射線治療の実態調査を開始した。一部アカデミック施設からの集積データについて解析が行われた。

D．考察

策定されたWebアンケート項目は高精度放射線治療の診療実態の把握に必要な不可欠な項目を含む。医学物理士との連携により短期間で効率的な高精度放射線治療に特化した全国レベルの訪問調査を可能とするものである。調査結果の解析に着手した。

E．結論

高精度放射線治療に特化して全国レベルの診療実態調査を効率的に行う体制を確立し、集積データの解析が行われた。

F．研究発表

1. 論文発表

- 1) Ozawa S, Teshima T, Uno T, et al. Comprehensive Registry of Esophageal

Cancer in Japan, 2004 Esophagus
2012;9:75-98.

2) Isohashi F, Ogawa K, Uno T,
Japanese Radiation Oncology study
Group (JROSG). Patterns of
radiotherapy practice for biliary tract
cancer in Japan: results of the
Japanese radiation oncology study
group (JROSG) survey. Radiat Oncol.
2013;8:76.

2. 学会発表

Uno T, Watanabe-Nemoto M, Harada
R, et al. Failure pattern in patients
with intermediate to high risk cervical
cancer treated with postoperative
chemoradiation using CT-based target
delineation. ASTRO 55th Annual
Meeting, Atlanta, 2013.

G . 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし